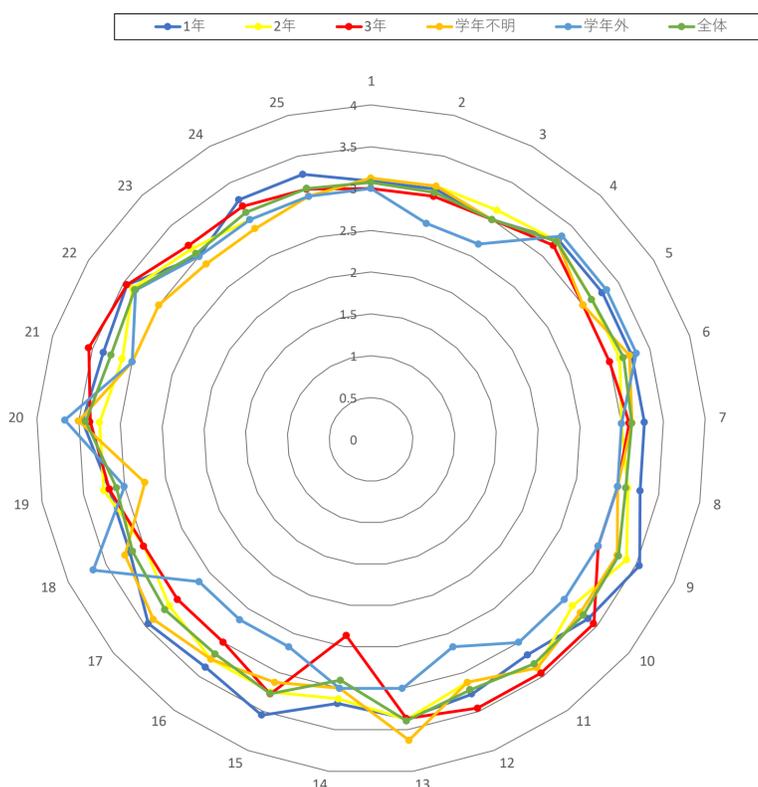


令和5年度 学校評価職員アンケートのまとめ

評価項目		評価の視点
I 学校経営	1 (1)学校教育目標	生徒の実態に即した学校教育目標が設定されており、教師間の理解の下に教育目標の具現化が図られている。
	2 (2)学校経営方針	学校経営方針が明確に示されており、望ましい教育活動が実践されている。
	3 (3)学年・学級経営	生徒の実態に即した目標が設定されており、望ましい学年・学級経営に努めている。
II 教育活動	4 (1)教育課程の編成	職業学科としての特色ある教育課程が編成されている。
	5 (2)教科指導・領域の指導	教科や領域の指導では分かる授業に努めており、そのための工夫・改善に取り組んでいる。
	6 (3)総合的な探求の時間	ねらいが明確で、生徒が主体的に取り組むための創意工夫がされている。
	7 (4)特別活動	学校行事や生徒会活動の充実を図るための創意工夫がされている。
	8 (5)生徒指導	服装や容儀など生徒指導に関する決まりを明確に示しており、状況に即した工夫・改善に取り組んでいる。
	9 (6)カウンセリング	カウンセリングマインドをもって生徒や保護者の相談に応じている。
	10 (6)進路指導	生徒のニーズに即した進路指導に取り組んでおり、自己選択による進路決定に努めている。
	11 (7)健康・安全教育	生徒の健康や安全に対する態度の醸成を図り、基礎体力向上に努めている。
	12 (8)人権・同和教育	生徒の命を尊び、人権を尊重した学習活動に努めている。
	13 (9)部活動	学校は部活動の活性化に努めている。
III 組織運営	14 (1)校務分掌	各分掌部は適切な役割を分担しており、組織的な活動に努めている。
	15 (2)各種委員会	目的に応じた委員会の設置と運用に努めている。
	16 (3)校内研修	生徒の実態や学校の教育課題を踏まえて校内研修体制が整っている。
	17 (4)現職教育	教職員の資質向上のための現職教育の研修機会が設けられている。
IV 教育環境	18 (1)学校環境の整備	生徒の安心、安全のための学校環境が整備されている。
	19 (2)施設設備の管理	生徒の学習に必要な施設設備が整っており、活用されている。
	20 (3)情報基盤の整備充実	学校教育活動全般の情報化が進められており、ホームページ等での情報発信に努めている。
V 開かれた学校	21 (1)保護者との連携	保護者とは必要な情報を共有ができており連携が取れている。
	22 (2)社会に開かれた学校づくり	地域資源(人・物・情報など)を活用した教育活動を計画的に実施している。
VI 生徒の成果	23 (1)生徒の基本的な生活習慣について	日々の指導をとおして生徒の必要な基本的な生活習慣が向上している。
	24 (2)他者との関わりについて	日々の指導をとおして生徒の人間関係形成力が成長している。
	25 (3)進路に関する取り組みについて	日々の指導をとおして生徒の進路に関する意識が高まっている。

評価項目	1年	2年	3年	学年不明	学年外	全体	回答状況	
I 学校経営	1	3.09	3.13	3.00	3.13	3.00	3.07	主幹教諭 1名 (1名中) 教諭 30名 (32名中) 講師 3名 (3名中) 養護教諭 1名 (1名中) 実習助手 6名 (6名中) 全体 41名 (43名中) 1年生 11名 2年生 8名 3年生 11名 不明 8名 学年外 3名 回答率 95.34%
	2	3.09	3.13	3.00	3.13	2.67	3.05	
	3	3.00	3.13	3.00	3.00	2.67	3.00	
II 教育活動	4	3.27	3.25	3.18	3.25	3.33	3.24	
	5	3.27	3.13	3.00	3.00	3.33	3.12	
	6	3.27	3.13	3.00	3.25	3.33	3.17	
	7	3.27	3.00	3.09	3.13	3.00	3.12	
	8	3.27	3.13	3.00	3.00	3.00	3.10	
	9	3.55	3.38	3.00	3.25	3.00	3.27	
	10	3.36	3.13	3.45	3.25	3.00	3.29	
	11	3.18	3.38	3.45	3.38	3.00	3.32	
	12	3.27	3.13	3.45	3.13	2.67	3.22	
	13	3.36	3.38	3.36	3.63	3.00	3.39	
III 組織運営	14	3.18	3.13	2.36	3.00	3.00	2.90	
	15	3.55	3.25	3.27	3.13	2.67	3.27	
	16	3.36	3.25	3.00	3.25	2.67	3.17	
IV 教育環境	17	3.45	3.13	3.00	3.38	2.67	3.20	
	18	3.18	3.00	3.00	3.25	3.67	3.15	
	19	3.18	3.25	3.18	2.75	3.00	3.10	
V 開かれた学校	20	3.45	3.25	3.36	3.50	3.67	3.41	
	21	3.36	3.13	3.55	3.00	3.00	3.27	
VI 生徒の成果	22	3.45	3.38	3.45	3.00	3.33	3.34	
	23	3.00	3.13	3.18	2.88	3.00	3.05	
	24	3.27	3.00	3.18	2.88	3.00	3.10	
	25	3.27	3.00	3.09	3.00	3.00	3.10	

学校評価アンケート(教職員)



<p>全体をとおして特に成果や課題等を踏まえて改善案や提案等があれば記述してください。</p>	<p>・本校は知的障害特別支援学校だが、発達障害を合わせ持つ生徒が増加している。発達障害生徒に対する指導は、知的障害のみの単一障害の生徒に対しての指導と異なる部分が多く、本来の本校教育方針に沿った指導が困難になってきている。このままでは、知的障害単一障害の生徒にとって、また、発達障害生徒にとっても適さない教育を実施してしまうことになりかねず、何らかの対策が必要だと考える。</p> <p>・教育環境(すべての教室のエアコン設置)については、ぜひ考慮していただきたいです。</p> <p>・業務負担の偏りをなくすように、業務分担(主担任、各主任、学年付きなど)の在り方をいろいろな立場から考える必要があると思います。</p> <p>・学年縦割りの指導に重きが置かれている傾向にある。学年をこえて業務を行う担当が必要ではないか。生徒指導、進路指導、カウンセラー業務等の位置づけ、担当教員の配置について再考していただきたい。</p> <p>・お忙しいとは思いますが、管理職の先生方には、外部の方が来られた時はもちろん普通の授業の様子など、私たちがどのような取り組みをしているか、生徒はどんな反応を示しているか、直に見ていただきたいです。</p> <p>・教員の仕事量の偏りを感じることもある。正担任としての業務をしながらの主任業務は、かなりきつく感じることもある。年齢的なこともあると思うが、何らかの配慮をしていただきたい、と思うことがある。</p> <p>・育成会について、月に一回ほど開催されていますが、保護者の参加については、毎回参加されるご家庭もあれば、また食参加できないご家庭もあるため、全ての保護者との連携という視点で考えると、育成会は機能していないのではないかと思います。現在の月一回の開催を見直し、年に数回で良いので、進路面談のように必ず参加できる日程を調整して、その時に必要なやり取りをすることが、全ての保護者との連携と、よりよい生徒の指導につながるのではないかと思います。個別の教育支援計画も、現行のやり方では育成会の参加状況によっては、すべての保護者との連携ができないので、必ず来ていただける日程の調整が必要ではないかと思いました。</p>
---	---